

日本農薬学会第 44 回大会プログラム

日時：平成 31 年 3 月 11 日（月）～3 月 13 日（水）

会場：名城大学（天白キャンパス）（〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501）

大会日程

3 月 11 日（月）名城大学（天白キャンパス）

・ 共通講義棟北 名城ホール

総会および授賞式 9 : 10－10 : 40

会務報告，会計監査報告，議事

日本農薬学会賞授賞式

平成 31 年度日本農薬学会賞受賞者講演

奨励賞 10 : 50－11 : 30

業績賞（研究） 13 : 00－14 : 10

業績賞（技術） 14 : 10－15 : 20

特別講演 15 : 30－17 : 10

・ 共通講義棟南

ランチョンセミナー 11 : 35－12 : 35

・ 共通講義棟北 名城食堂

懇親会・受賞祝賀会 17 : 30－19 : 30

3 月 12 日（火）名城大学（天白キャンパス）

・ 共通講義棟南

一般講演，技術士セミナー，ランチョンセミナー，展示 9 : 15－17 : 15

3 月 13 日（水）名城大学（天白キャンパス）

・ 共通講義棟南

シンポジウム，ランチョンセミナー，展示 9 : 00－16 : 45

平成 31 年度日本農薬学会受賞者講演

3 月 11 日（月）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟北 名城ホール

奨励賞

AL1 甲斐建次（大阪府立大学大学院） 10：50－11：10
「特異な生理活性を示す微生物コミュニケーション分子に関する生物有機化学的研究」
座長：石原亨

AL2 草島美幸（東京大学大学院） 11：10－11：30
「植物ホルモンスIGNALに着目した農薬の作用機構解析」
座長：森島靖雄

業績賞（研究）

AL3 有江力（東京農工大学大学院） 13：00－13：35
「フザリウムによる植物病害の防除と検診，分子遺伝学に関する研究」
座長：梅村賢司

AL4 高木和広（農研機構 農業環境変動研究センター） 13：35－14：10
「POPs 等難分解性有機化合物の微生物分解に関する研究」
座長：大山和俊

業績賞（技術）

AL5 海老原耕一，江崎竜太郎，萩原寛之，濱田崇宏，津田幹雄（三井化学アグロ(株)）
14：10－14：45
「殺菌剤「トルプロカルブ」の開発」
座長：三谷晃

AL6 藤波周，高橋優樹，種谷良貴，伊藤稔，那須美菜（クミアイ化学工業(株)）
14：45－15：20
「水稻用除草剤「フェノキサスルホン」の開発」
座長：町谷幸三

特別講演

3月11日（月）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟北 名城ホール

PL1 菅敏幸（静岡県立大学） 15：30－16：20

「100 グラムスケールでの製造供給を可能にした農業「鍵」天然物合成」

座長：濱本博三

PL2 松井健二（山口大学） 16：20－17：10

「植物の香り化合物による生存戦略」

座長：上船雅義

シンポジウム 1

3 月 13 日（水）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟南 A 会場（S201 講義室）

「形を見る，形から学ぶ」

共催：農薬バイオサイエンス研究会

オーガナイザー：野下浩二（秋田県立大学生物資源科学部）

村野宏達（名城大学農学部）

開会挨拶	9：00－9：05
S101 質量顕微鏡による農薬分布可視化 新聞秀一（大阪大学大学院工学研究科）	9：05－9：45
S102 量子プローブを用いたタンパク質内部運動計測と電子顕微鏡構造解析の融合をめざして 三尾和弘（産業技術総合研究所創薬分子プロファイリング研究センター）	9：45－10：25
S103 新規植物ペプチドホルモンの探索と機能解明 松林嘉克（名古屋大学大学院理学研究科）	10：25－11：05
S104 RNAi 法で探る非モデル昆虫の形作りの仕組み 新美輝幸（自然科学研究機構基礎生物学的研究所）	11：05－11：45
閉会挨拶	11：45－11：50

シンポジウム 2

3月13日（水）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟南 D 会場（S302 講義室）

「東海地方の主要作物とその病虫害防除」

オーガナイザー：天野昭子（岐阜県農業技術センター）

大竹敏（愛知県農業総合試験場）

永井雄太郎（愛知県経済農業協同組合連合会）

開会挨拶 13：45－13：50

S201 シソのサビダニが引き起こすオオバのモザイク病及びさび症の防除体系
市川耕治（愛知県農業総合試験場 病虫害研究室） 13：50－14：25

S202 三重県内のチャノコカクモンハマキにおける薬剤抵抗性の発達状況と防除指導について
14：25－15：00
田中千晴（三重県農業研究所 茶業研究課）

S203 果菜類における農薬耐性菌問題と防除対策 15：00－15：35
渡辺秀樹（岐阜県農業技術センター 病理昆虫部）

S204 作物群についての分類と考え方について 15：35－16：10
高橋基子（農林水産省 消費・安全局農産安全管理課農薬対策室）

総合討論 16：10－16：40
進行：天野昭子

閉会挨拶 16：40－16：45

技術士セミナー（ランチョンセミナー）

3月12日（火）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟南 H 会場（S403 講義室）12：00－13：00

1. 公的研究機関における技術士の役割

神頭武嗣（兵庫県農林水産技術総合センター）

★ このランチョンセミナーでは、弁当が 50 名様まで無料で提供されます。

チケットは、当日朝 8：30 から共通講義棟南 2 階の受付付近で配布いたします。

奮ってご参加ください。

ランチョンセミナー

3月11日（月）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟南

11：45－12：45

L1 キンダ化学株式会社

会場：F 会場（S401 講義室）

演題：含フッ素キンダ化学オリジナルビルディングブロックを用いる ^{19}F NMR によるフラグメントスクリーニング手法の実例

演者：加藤悦子（農研機構 高度解析センター 生体分子解析チーム，名古屋大学大学院・生命農学研究科）

L2 ERM [世話役：イー・アール・エム日本株式会社]

会場：G 会場（S402 講義室）

演題：Technical Requirements for the EU Pesticide Dossier 2009-2019 – Changes and Their Impacts

演者：Rebecca Graham (ERM)

★ 本年は、3月11日（月）「総会および日本農薬学会賞授賞式」の日にもランチョンセミナーを企画しています。各ランチョンセミナーでは、弁当が 70 名様まで無料で提供されます。

チケットは、当日朝 8：30 から名城ホール入口の受付付近で配布いたします。

奮ってご参加ください。

3月12日（火）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟南

12：00－13：00

L3 日本チャールス・リバー株式会社

会場：E 会場（S203 講義室）

演題：Rat ADME in Agrochemical Development – Maximising and Optimising the Data Produced

演者：David Macpherson (Charles River Laboratories Edinburgh Ltd.)

L4 エンヴィーゴ株式会社

会場：F 会場（S401 講義室）

演題：Screening Programme of New a.i. Registration in US and EU

演者：David Shaw, Gary Dean（Envigo）

L5 農薬工業会

会場：G 会場（S402 講義室）

演題：食料生産における農薬のイノベーション

演者：廣岡卓（農薬工業会）

3 月 13 日（水）名城大学（天白キャンパス）共通講義棟南

12：30－13：30

L6 Pharmaron UK [世話役：バイオブリッジ株式会社]

会場：E 会場（S203 講義室）

演題：High Resolution Mass Spectrometry: Current Practices for Metabolite Identification

演者：Ray Cooke, Michael Swift (Pharmaron UK)

L7 ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

会場：F 会場（S401 講義室）

演題：Novel Insecticide PyraXalt™: Mesoionics Chemistry, Mode of Action, Cross Resistance, Features

演者：○Xue Sylvia Hui, Gurulingappa Pampapathy, Oue Megu, Siebert Melissa（Corteva Agriscience™, Agriculture Division of DowDuPont™）

演題：新規殺虫剤ピラキサルト™の生物活性について

演者：○阿部新太郎，彌富丈一郎，宮崎仁実（全国農業協同組合連合会 営農・技術センター）

L8 LANDIS International, Inc. [世話役：株式会社エルエスピー]

会場：G 会場（S402 講義室）

演題：Next Steps after an EPA Federal Registration Including Problems with CA, FL, AZ and NY and Label Expansion with IR-4

演者：Lisa Ayn Setliff, Kevin J. Sweeney (LANDIS International, Inc., USA)

★ 3 月 12 日（火），13 日（水）各ランチョンセミナーでは，弁当が 70 名様まで無料で提供されます。

チケットは，当日朝 8：30 から共通講義棟南 2 階の受付付近で配布いたします。

奮ってご参加ください。

展示会

名城大学（天白キャンパス）共通講義棟南 一般講演・シンポジウム講演会場前廊下

3月12日（火）9：00－17：00

3月13日（水）9：00－15：00

出展：株式会社エービー・サイエックス

キシダ化学株式会社

島根大学生物資源科学部

一般財団法人生物科学安全研究所

中村科学器械工業株式会社

株式会社ビジコムジャパン

株式会社藤原製作所

Restek Corporation

講演日程一覧

	A 会場 (S201 講義室)	B 会場 (S202 講義室)	C 会場 (S301 講義室)	D 会場 (S302 講義室)
3 月 12 日 (火)				
9 : 15－11 : 30	一般講演 作用機構・抵抗性	一般講演 生物活性・検定法 遺伝子科学 環境科学・生態影響	一般講演 分子設計 合成プロセス・グリーンケミストリー	一般講演 製剤・施用法 環境科学・生態影響
12 : 00－13 : 00	ランチョンセミナー (E, F, G 会場), 技術士セミナー (H 会場)			
13 : 15－17 : 15	一般講演 作用機構・抵抗性 生物活性・検定法	一般講演 天然物化学 生物活性・検定法 代謝・分解・動態 製剤・施用法 遺伝子科学 その他	一般講演 分子設計 天然物化学	一般講演 製剤・施用法 残留・分析法 環境科学・生態影響 分子設計 その他

シンポジウム会場

	A 会場 (S201 講義室)	D 会場 (S302 講義室)
3 月 13 日 (水)		
9 : 00－12 : 00	シンポジウム 1 形を見る, 形から学ぶ	
12 : 30－13 : 30	ランチョンセミナー (F, G, H 会場)	
13 : 45－16 : 45	シンポジウム 2 東海地方の主要作物とその病害虫防除	

ランチョンセミナー会場

	E 会場 (S203 講義室)	F 会場 (S401 講義室)	G 会場 (S402 講義室)	H 会場 (S403 講義室)
3 月 11 日 (月)				
11 : 45－12 : 45		キシダ化学 (株)	ERM/イー・アール・エム日本 (株)	
3 月 12 日 (火)				
12 : 00－13 : 00	日本チャールス・リバー (株)	エンヴィーゴ (株)	農薬工業会	技術士セミナー
3 月 13 日 (水)				
12 : 30－13 : 30	Pharmaron UK/ ビオブリッジ (株)	ダウ・アグロ サイエンス日本 (株)	LANDIS International, Inc./ (株) エルエスピー	

学生優秀発表賞表彰会場

3 月 13 日 (水) 12 : 05－12 : 20 A 会場 (S201 講義室)

大会日程表

第 1 日 3 月 11 日（月）		第 2 日 3 月 12 日（火）						第 3 日 3 月 13 日（水）		
名城大学・ 名城ホール、共通講義棟南		名城大学・共通講義棟南						名城大学・共通講義棟南		
総会および 日本農薬学会賞授賞式		開始 時刻	A 会場 (S201)	B 会場 (S202)	C 会場 (S301)	D 会場 (S302)		開始 時刻	A 会場 (S201)	D 会場 (S302)
9:10	総会	9:15	A201			D201		9:00	シンポジウム 1	
		9:30	A202	B201	C201	D202		～	S101－S104	
		9:45	A203	B202	C202	D203		12:00		
10:00	授賞式	10:00	A204	B203	C203	D204				
受賞者講演		10:15	A205	B204	C204	D205				
10:50	奨励賞 1	10:30	A206	B205	C205	D206				
11:10	奨励賞 2	10:45	A207	B206	C206	D207				
		11:00	A208		C207	D208				
		11:15	A209		C208	D209				
11:45	ランチョンセミナー	12:00	ランチョンセミナー					12:05	学生優秀発表賞	
～	(F, G 会場)	～	(E, F, G 会場)					12:20	表彰式	
12:45		13:00	技術士セミナー					12:30	ランチョンセミナー	
			(H 会場)					～	(E, F, G 会場)	
13:00	業績賞（研究）1	13:15	A210	B207	C209	D210		13:30		
13:35	業績賞（研究）2	13:30	A211	B208	C210	D211				
14:10	業績賞（技術）1	13:45	A212	B209	C211	D212		13:45		シンポジウム 2
14:45	業績賞（技術）2	14:00	A213	B210	C212	D213		～		S201－S204
15:20	休憩	14:15	A214	B211	C213	D214		16:45		
15:30	特別講演 1	14:30	A215	B212	C214	D215				
		14:45		B213		D216				
16:20	特別講演 2	15:00								
		15:15	A216		C215					
17:10	会場移動	15:30	A217	B214	C216	D217				
～		15:45	A218	B215	C217	D218				
17:30	懇親会	16:00	A219	B216	C218	D219				
～		16:15	A220	B217	C219	D220				
19:30	受賞祝賀会	16:30	A221	B218	C220	D221				
		16:45	A222	B219		D222				
		17:00	A223							

シンポジウム座長一覧

	A 会場 (S201 講義室)	D 会場 (S302 講義室)
3 月 13 日 (午前)	西脇寿 (S101) 伊原誠 (S102) 村井正俊 (S103) 太田広人 (S104)	
3 月 13 日 (午後)		永井雄太郎 (S201-S202) 大竹敏也 (S203-S204)

一般講演座長一覧

	A 会場 (S201 講義室)	B 会場 (S202 講義室)	C 会場 (S301 講義室)	D 会場 (S302 講義室)
3 月 12 日 (午前)	岡澤敦司 (A201-A202) 番場伸一 (A203-A204) 平田晃一 (A205-A206) 西脇寿 (A207-A209)	古田賢次郎 (B201-B203) 石井英夫 (B204-B206)	濱本博三 (C201-C204) 森達哉 (C205-C208)	門岡織江 (D201-D203) 稲生圭哉 (D204-D206) 山本幸洋 (D207-D209)
3 月 12 日 (午後)	太田広人 (A210-A212) 田中千尋 (A213-A215) 原田賢 (A216-A218) 神頭武嗣 (A219-A223)	荒川征夫 (B207-B210) 水口智江可 (B211-B213) 乾秀之 (B214-B216) 三谷晃 (B217-B219)	野下浩二 (C209-C211) 宮下正弘 (C212-C214) 小松健 (C215-C217) 王敬銘 (C218-C220)	高木和広 (D210-D213) 上野英二 (D214-D216) 元場一彦 (D217-D219) 天野昭子 (D220-D222)

日本農薬学会第 44 回大会（名古屋）組織委員会

委員長：田村廣人（名城大学）

委員：天野昭子（岐阜県農業技術センター）

上野英二（愛知県衛生研究所）

上船雅義（名城大学）

小原敏明（三井化学アグロ（株））

小森岳（住友化学（株））

永井雄太郎（愛知県経済農業協同組合連合会）

水口智江可（名古屋大学）

泰永涼子（日本農薬（株））

荒川征夫（名城大学）

植薄信也（日本曹達（株））

大竹敏也（愛知県農業総合試験場）

片山新太（名古屋大学）

斎藤勲（東海コープ事業連合）

濱本博三（名城大学）

村野宏達（名城大学）

一般講演についてのお願い

講演はすべて、Microsoft PowerPoint で作成されたファイルを液晶プロジェクターで投影して行います。講演時にトラブルが起きないように、下記の注意点を参考にしてファイルの作成と受付を行ってください。使用するノートパソコン（OS：Windows 8）には、最新の Microsoft PowerPoint Viewer（無料ソフト）がインストールされています。演台上の PC は、補助者はつきますが、原則として演者の方ご自身で操作していただきます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表 1 題につき 1 つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名（半角英数のみ使用）.ppt（あるいは.pptx）としてください。
例:A101_meijotorou.ppt
- (2) 講演時間は 1 題 15 分（講演 12 分、討論 3 分）です。12 分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントの選択に留意してください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字（①、(株) など）の使用は、極力避けてください。
- (4) 動画等を含む大容量のファイルはトラブルの原因になりますので、極力避けてください。やむを得ない場合は、ファイルを可能な限り圧縮してください。
- (5) 作成されたファイルは Windows 版の PowerPoint でスムーズにスライドショーができることを確認してください。特に Macintosh をご使用の方は、ファイルをお持ちいただく前に、Windows 版の PowerPoint で動作確認を各自お願いいたします。特にフォントずれや文字化け、オブジェクトの非認識等にご注意ください。

データ受付の流れ

発表ファイルの受付は、原則として 3 月 11 日（月）（一般講演前日）に済ませてください。発表者が受付できない場合は、共同発表者の方が代わりに行ってください。発表直前の受付はご遠慮ください。

- (1) 発表用ファイルは USB メモリに保存してお持ちください。発表ファイルおよび USB メモリのウイルスチェックを、必ず事前にお持ちの最新ウイルス対策ソフトで済ませておいてください。
- (2) 総会会場の受付付近に設置した「発表ファイル受付」にて、ウイルスチェック済みの発表ファイルを講演会場用 PC にコピーしていただき、スライド動作に問題がないかどうかを確認してください。
- (3) 万が一のトラブルに備え、発表用ファイルの入った USB メモリは、発表時にご持参ください。
- (4) 大会終了後は、講演会場用 PC にコピーされた発表ファイルは大会実行委員立会いの下、確実に削除いたします。

一般講演

講演 12 分, 討論 3 分 (1 鈴 10 分, 2 鈴 12 分, 3 鈴 15 分)

第 2 日 3 月 12 日 (火) 午前の部 A 会場 (共通講義棟南 S201 講義室)			
9:15	A201	新規除草剤シクロピリモレートに関する研究 ～作用機構～ ○志野真実子, 濱田崇宏, 重松由夫, 平瀬寒月, 番場伸一(三井化学アグロ株式会社)	
9:30	A202	除草剤代謝に関与するシトクロム P450 の構造機能解析 ○山本峻資 ¹ , 前田美紀 ² , 雑賀啓明 ² , 鈴木倫太郎 ² , 遠藤真咲 ² , 内山千紘 ¹ , 種谷良貴 ¹ , 土岐精一 ² , 山崎俊正 ² , 河合清 ¹ (¹ クミアイ化学工業(株), ² 農研機構)	
9:45	A203	根寄生雑草の新規防除標的プランテオース加水分解酵素の諸性質 ○岡澤敦司 ^{1,2} , 馬場敦也 ¹ , 岡野ひかる ¹ , 杉本幸裕 ^{2,3} , 太田大策 ¹ (¹ 阪府大院・生命環境, ² JST/JICA・SATREPS, ³ 神戸大院・農)	
10:00	A204	根寄生雑草 Striga による被害低減を可能にする自殺発芽誘導剤 ○財前穂波, 水野翼, 中村英光, 浅見忠男(東大院・農生科)	
10:15	A205	ハスモンヨトウの薬剤抵抗性モニタリングに関する大量データの統計的解析により得られた抵抗性抑制に資する 3 つの知見 ○平野忠美, 子安英雄, 政美加(JAあいち経済連営農支援センター)	
10:30	A206	カイコチラミン受容体 BmTAR1 に対する精油のアロステリック様作用とアミジン系化合物のアンタゴニスト作用 ○高松亮太, 崎田遼, 太田広人(熊本大院・先端科学研究部)	
10:45	A207	新規殺ダニ剤アシノナピル(ダニオーテ)の作用機構に関する研究 (第 2 報) ○平田晃一, 天野睦大, 西尾史也, 岩佐孝男(日本曹達(株)小田原研究所)	
11:00	A208	Pyrethroids は GABA 受容体に作用しているのか? ○田中啓司 ¹ , 尾添嘉久 ² , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大農, ² 島根大生物資源)	
11:15	A209	メチル基を付加した γ -BHC 類縁体の殺虫活性と GABA アンタゴニスト活性 ○田中啓司 ¹ , 尾添嘉久 ² , 赤松美紀 ³ , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大農, ² 島根大生物資源, ³ 京都大農)	

第2日 3月12日(火) 午前の部 B会場(共通講義棟南 S202 講義室)

- 9:30 B201 エクジステロイド生合成関連酵素 Noppera-bo の阻害物質の探索
○豊福美和子¹, 稲葉和恵², 藤川雄太³, 井上英史³, 丹羽隆介², 小野肇¹(¹京大・農,
²筑波大・生命環境, ³東京薬大・生命)
- 9:45 B202 ダイズ品種ペキンが示す老齡ハスモンヨトウ非選好性
○矢野まりこ, 中田隆, 井上貴斗, 寺石政義, 吉永直子, 奥本裕, 森直樹(京大院農)
- 10:00 B203 抗細菌剤ではない薬剤の組み合わせによるイネ苗立枯細菌病の完全抑制
○正田雄紀, 立花誠治, 能崎薫, 橋床泰之(北海道大院農, 北海道大農)
- 10:15 B204 *Bipolaris maydis* におけるジカルボキシイミド耐性に関わる遺伝子の同定と解析
○西行優子¹, 吉田裕史¹, 泉津弘佑², 田中千尋¹(¹京大院・農, ²滋賀県大環境科学)
- 10:30 B205 抗真菌性化合物 Tolnifanide は RHO1 および RAC1 の攪乱により致死性を発揮する
○重吉沙衣¹, 田中千尋², 宮川恒², 入江俊一¹, 鈴木一実¹, 泉津弘佑¹
(¹滋賀県大院・環, ²京大院・農)
- 10:45 B206 汚染物質輸送因子の結合活性制御に着目したウリ科作物の汚染低減化
○藤田健太郎¹, 近藤恭光², 本田香織², 羽賀雄紀³, 長田裕之², 松村千里³, 乾秀之^{1,4}
(¹神戸大院・農, ²理研・CSRS, ³兵庫県環境研セ, ⁴神戸大・バイオ)
-

第2日 3月12日(火) 午前の部 C会場(共通講義棟南 S301 講義室)

- | | | |
|-------|------|--|
| 9:30 | C201 | Ames 変異原性予測ソフトウェア xenoBiotic
○澤田敏彦 ¹ , 橋本智裕 ¹ , 和佐田裕昭 ¹ , 利部伸三 ² (¹ 岐阜大学・地域科学部,
² 岐阜大学・名誉教授) |
| 9:45 | C202 | フロー・マイクロリアクターを用いたフルオロホルムによるトリフルオロメチル化反応
○平野和希, 権藤聡, 徳永恵津子, 柴田哲男(名工大院工) |
| 10:00 | C203 | トランス型 SF ₄ 部位を有するアルケン類の光反応を用いた合成
○棚川一裕 ¹ , 新名清輝 ¹ , 齋藤記庸 ² , 柴田哲男 ¹ (¹ 名工大院工, ² 宇部興産(株)) |
| 10:15 | C204 | テトラフルオロスルファニルクロリド類の簡便合成法の開発
Ibrayim Saidalimu ¹ , 梁禹蒙 ¹ , ○新名清輝 ¹ , 棚川一裕 ¹ , 齋藤記庸 ² , 柴田哲男 ¹
(¹ 名工大院工, ² 宇部興産(株)) |
| 10:30 | C205 | 脱炭酸型アリル化反応を用いた α -ジフルオロメチルチオカルボニル化合物の不斉合成
○佐々木健太, 近藤寛也, 前野万也香, 柴田哲男(名工大院工) |
| 10:45 | C206 | キナアルカロイド型相間移動触媒による α -トリフルオロメトキシケトンの不斉合成
○梁禹蒙, 前野万也香, 柴田哲男(名工大院工) |
| 11:00 | C207 | Pd 触媒を用いたトリフルオロメチルジヒドロキノリン類の合成
○原田恭輔, Nagender Punna, Jun Zhou, 柴田哲男(名工大院工) |
| 11:15 | C208 | テトラヒドロキノリン型脱皮ホルモンアゴニストの構造展開
○上野美乃李, 横井大洋, 中川好秋, 宮川恒(京大院・農) |
-

第2日 3月12日(火) 午前の部 D会場(共通講義棟南 S302 講義室)

- 9:15 D201 固体制剤の回収率測定における有効成分の添加方法の検討
○渡辺高志¹, 倉浪佑実子¹, 塚田勇輝², 木村穰¹(¹農林水産消費安全技術センター,
²農林水産省)
- 9:30 D202 農薬が水田動物群集におよぼす効果の年間比較と感受性指標種の抽出の試み
○橋本洸哉¹, 笠井敦², 林岳彦³, 五箇公一³, 早坂大亮¹(¹近大農学部, ²静岡大農学部,
³国立環境研)
- 9:45 D203 セスジユスリカ(*Chironomus yoshimatsui*) およびドブユスリカ(*Chironomus riparius*)の
殺虫剤への感受性差に関する検討
○柳沼慎二, 根本大輔, 高坂駿太, 吉實隆志, 梅哲夫(日本農薬(株))
- 10:00 D204 高親水性化合物のネオニコチノイド系農薬に対応したパッシブサンプラーの受容相の
選定
○矢吹芳教¹, 野呂和嗣¹, 伴野有彩¹, 遠藤智司²(¹大阪府環農水研, ²阪市大院・工)
- 10:15 D205 河川モニタリングデータ解析を目的とした数理モデリングの利用とその汎用化に向けた
基礎的検討
○近藤圭, 飯島和昭, 大山和俊(一般財団法人残留農薬研究所・化学部)
- 10:30 D206 箱施用殺虫剤播種時処理におけるイネ体内濃度に対する育苗中水管理の影響
○望月証, 柳澤由加里, 八瀬順也
(兵庫県立農林水産技術総合センター・農業技術センター)
- 10:45 D207 水田における育苗箱施用剤の残留について(第1報)
水田土壌および田面水中の農薬残留濃度
○加藤玄俊¹, 小野木由佳¹, 天野昭子²(¹ぎふクリーン農業研究センター,
²岐阜県農業技術センター)
- 11:00 D208 水田における育苗箱施用剤の残留について(第2報)
稲体中の農薬の濃度推移について
○天野昭子¹, 加藤玄俊², 小野木由佳²(¹岐阜県農業技術センター,
²ぎふクリーン農業研究センター)
- 11:15 D209 水田における育苗箱施用剤の残留について(第3報)
フィプロニルの連用田における土壌残留
○小野木由佳¹, 加藤玄俊¹, 天野昭子²(¹ぎふクリーン農業研究センター,
²岐阜県農業技術センター)
-

第2日 3月12日(火) 午後の部 A会場(共通講義棟南 S201 講義室)

- | | | |
|-------|------|--|
| 13:15 | A210 | 糸状菌が生産するコムネシン類の殺虫活性発現に関わる標的と構造
○野口晃 ¹ , 村田和也 ¹ , 伊原誠 ¹ , 甲斐建次 ² , 林英雄 ² , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大院・農,
² 阪府大院・生環科) |
| 13:30 | A211 | 外部寄生虫薬フルラネルの活性発現に関わる GABA 作動性 Cl ⁻ チャネルのアミノ酸
残基の同定
○山藤康平 ¹ , 尾添富美代 ² , 旭美穂 ³ , 小林正樹 ³ , 尾添嘉久 ² (¹ 島根大院・自然科学,
² 島根大・生物資源科学, ³ 日産化学・生物科学研) |
| 13:45 | A212 | アブラムシ Mpa2 とラット Rβ2 サブユニットから構成されるニコチン性アセチルコリン
受容体の薬理プロファイル
○土井捷平, 中村美月, 鈴木智典, 富澤元博(東京農大院) |
| 14:00 | A213 | 吸鎖複合体-Iからの活性酸素発生を抑制する化合物群 (S1QEL 類) の作用機構研究
○馬場敦志, 辻諄人, 木村洋則, 村井正俊, 三芳秀人(京大院農・応用生命) |
| 14:15 | A214 | ミトコンドリア呼吸鎖複合体-Iのキノン/阻害剤結合ポケットの構造特性の解明
○宇野晋平, 木村洋則, 村井正俊, 三芳秀人(京都大学・大学院農学研究科) |
| 14:30 | A215 | 殺菌剤イソプロチオランによるシロイヌナズナ根端メリステムの細胞分裂促進機構の
解析
○堀田里奈, 草島美幸, 藤田萌香, 仲下英雄(福井県立大・生物資源) |
| 15:15 | A216 | トウモロコシごま葉枯病菌における殺菌剤耐性関連因子 BmPrp24 と BmSkn7 は
相互作用する
○下村末紀 ¹ , 住田卓也 ¹ , 泉津弘佑 ² , 田中千尋 ¹ (¹ 京大院・農 ² 滋賀県大・環) |
| 15:30 | A217 | トウモロコシごま葉枯病菌におけるポリオキシン耐性遺伝子の同定および機能解析
○二神加奈恵, 陳帯娣, 田中千尋(京大院・農) |
| 15:45 | A218 | イネのプライミング機構を誘導するシグナル物質の探索
○藤田萌香, 草島美幸, 仲下英雄(福井県立大院・生物資源) |
| 16:00 | A219 | ジャスモン酸経路を活性化する新規抵抗性誘導剤候補化合物の作用機構の解析
○北畑信隆 ¹² , 斉藤優歩 ¹ , 中野正貴 ¹ , 石賀康博 ³ , 来須孝光 ⁴ , 浅見忠男 ⁵ , 朽津和幸 ¹²
(¹ 東京理科大・理工・応用生物科学, ² 東京理科大・イメージングフロンティアセンター,
³ 筑波大・生命環境, ⁴ 公立諏訪東京理科大・工, ⁵ 東京大・院・農学生命) |
| 16:15 | A220 | ウリ類炭疽病菌におけるフェリムゾン感受性とメラニン生合成の関係
○原田賢, 奥野哲郎(龍谷大学・植生) |
| 16:30 | A221 | アシベンゾラル S メチル(ASM)は植物ウイルスの感染を複数の段階で抑制する
○小松健, Fawzia Novianti, 松尾優希, 竹原美樹, 福原敏行, 有江力(農工大院農) |
| 16:45 | A222 | 植物免疫抑制剤 NAS1 の作用機構の解析
○草島美幸, 青木智史, 高橋郁夫, 姜凱, 中村英光, 浅見忠男(東大院農生科・応生化) |
| 17:00 | A223 | 各種 SDHI 剤のボスカリド耐性キュウリ褐斑病菌と灰色かび病菌に対する活性比較
○石井英夫 ^{1,2} , 川崎智典 ¹ , 片寄考太 ¹ , 宮本拓也 ³ , 鈴木啓史 ⁴ , 川上拓 ⁵
(¹ 吉備国際大, ² 農環研, ³ 茨城園研, ⁴ 三重中農普セ, ⁵ 三重農研) |

第2日 3月12日(火) 午後の部 B会場(共通講義棟南 S202 講義室)

- | | | |
|-------|------|--|
| 13:15 | B207 | タマネギべと病の二次感染予防に用いられる殺菌剤へ加用した各種展着剤の発病抑制効果に及ぼす影響
○田代暢哉 ¹ , 菖蒲信一郎 ² , 渡邊幸子 ² , 中山伸一 ¹ , 宮崎尚子 ¹ , 浦川綾子 ¹ , 安河内千鶴 ¹ , 宮口邦子 ¹ , 川内孝太 ¹ , 田中義樹 ¹ (¹ 佐賀上場営農セ, ² 佐賀農業セ) |
| 13:30 | B208 | 微生物殺虫剤ボタニガード ES およびマイコタールの病害防除効果
○飯田祐一郎 ¹ , 西大海 ^{1,2} , 窪田昌春 ¹ , 寺見文宏 ¹ , 須志田浩稔 ¹ , 東佑実子 ¹ , 山中聡 ³
(¹ 研機構・野菜花き研, ² 現九大院・農, ³ アリストライフサイエンス(株)) |
| 13:45 | B209 | ムギ類に病原性を有する菌類 <i>Ophiosphaerella korrae</i> の分離と化学的防除策の検討
○富岡啓介 ¹ , 川口章 ¹ , 川上顕 ¹ , 増中章 ¹ , 野見山孝司 ² , 関口博之 ¹ , 石川直幸 ¹
(¹ 農研機構 西日本農研, ² 農研機構 野菜花き研) |
| 14:00 | B210 | 植物の「三重反応」を誘導する蛍光標識化合物 EH-DF 作用機構解析
○王敬銘, 原田美佳, 富尾冴(秋田県立大学・生物資源) |
| 14:15 | B211 | トウモロコシの機械的傷害および菌類感染による抗菌性物質の産生
○鶴嶋鉄 ¹ , 森直樹 ² , 宮川恒 ² (¹ 阪南大, ² 京大農) |
| 14:30 | B212 | <i>Trichoderma virens</i> PS1-7 株のカテコール応答を利用した拮抗性強化の試み
三又一泰, 横田 基, ○橋床泰之(北海道大学・大学院農学研究院) |
| 14:45 | B213 | 幼若ホルモンアンタゴニスト NY52 の構造活性相関とカイコ体液中の幼若ホルモン濃度に与える影響
○末吉歩夢, 山田直子, 古田賢次郎(島根大・生資科) |
| 15:30 | B214 | フッ素原子あるいは塩素原子が付加した γ -BHC 類縁体の殺虫活性、GABA アンタゴニスト活性および昆虫体内運命
○田中啓司 ¹ , 岩井隆昭 ¹ , 坂本見昭 ¹ , 尾添嘉久 ² , 松田一彦 ¹ (¹ 近畿大農, ² 島根大生物資源) |
| 15:45 | B215 | 好氣的 HCB 脱塩素分解菌 <i>Nocardioides</i> sp. PD653 の基質特異性に関する研究
○伊藤虹児 ¹ , 高木和広 ¹ , 片岡良太 ² , 清田洋正 ³ , 岩崎昭夫 ⁴
(¹ 農研機構・農環研, ² 山梨大・生命環境, ³ 岡山大院・環境生命, ⁴ 順天堂大・JMTIC) |
| 16:00 | B216 | メカノケミカル効果を利用した油を含む高塩素化 PCB (KC-500) の脱塩素無害化処理技術の開発
○野間淳一 ¹ , 高木和広 ² , 栢岡理 ¹ (¹ 栗本鐵工所, ² 農研機構・農環研) |
| 16:15 | B217 | 水稲用フェンキノトリオン(エフィーダ®)混合剤に関する研究
第1報 ピリミスルファン・フェノキサスルホン・フェンキノトリオン混合剤の特性
○大野修二, 上田憲, 永松敦, 小林方美(クマイ化学工業(株)) |
| 16:30 | B218 | 水稲用フェンキノトリオン(エフィーダ®)混合剤に関する研究
第2報 ピラクロニル・ピリミノバックメチル・フェンキノトリオン混合剤の特性
○上田憲, 大野修二, 小林方美(クマイ化学工業(株)) |
| 16:45 | B219 | 新規水稲用拡散型製剤に関する研究(1)
○田中祐太郎, 入波平治(北興化学工業株式会社) |

第2日 3月12日(火) 午後の部 C会場(共通講義棟南 S301 講義室)

- | | | |
|-------|------|--|
| 13:15 | C209 | <i>Bacillus subtilis</i> が生産する殺虫成分の単離と構造解析
○鈴木翔太 ¹ , 花崎健吾 ² , 江川大智 ¹ , 西脇寿 ² (愛媛大 ¹ ・農, 愛媛大院 ² ・農) |
| 13:30 | C210 | ヤエヤマサソリ毒液に含まれる抗菌性ペプチド LaCT1 の合成および活性評価
○岡部諒太, 宮下正弘, 中川好秋, 宮川恒(京大院・農) |
| 13:45 | C211 | 中心子目(ナデシコ目)植物での小胞輸送によるベタニン移送の可能性
○薬師葉, 浅野純一, 橋床泰之(北海道大学・農学部/農学院) |
| 14:00 | C212 | アブラナ科植物を寄主とするナガメの餌探索行動とその化学因子
○高島良磨, 嶺岸諒太, 野下浩二(秋田県立大・生物資源科学) |
| 14:15 | C213 | 本邦イネいもち病菌株に感染するマイコウイルス MoCV1-D の性状及び機能解析
○東浦智也 ¹ , 林靖 ³ , 浦山俊一 ¹ , 福原敏行 ¹ , 有江力 ² , 寺岡徹 ² , 小松健 ² , 森山裕充 ¹
(農工大 ¹ 細胞分子, ² 植物病理, ³ 一般財団法人残留農薬研究所) |
| 14:30 | C214 | <i>Xyris complanata</i> 種子発芽を促進する <i>Penicillium</i> 属真菌類の寄生植物 <i>Orobancha minor</i> 種子に対する休眠打破活性の発見
○羽根匡毅 ¹ , Yanetri A Nyon ² , Hanny C. Wijaya ³ , 謝肖男 ⁴ , 橋床泰之 ¹ (¹ 北大院農, ² Univ. of Palangkaraya, ³ Bogor Agric. Univ., ⁴ 宇都宮大バイオセ) |
| 15:15 | C215 | 植物糖による青枯病菌二次代謝の活性化と病原力への寄与
○坂田恵 ¹ , 石川陽子 ¹ , 村井勇太 ¹ , 大西浩平 ² , 曳地康史 ³ , 甲斐建次 ¹
(¹ 阪府大院・生命環境, ² 高知大・総研セ, ³ 高知大・農) |
| 15:30 | C216 | イネにおけるフラボノイド型ファイトアレキシン、サクラネチンの蓄積に関する種内変異
○村田晃一 ¹ , 高田諒 ² , 宇部尚樹 ³ , 上野琴巳 ⁴ , 寺石政義 ² , 奥本裕 ² , 森直樹 ² , 石原亨 ¹
(¹ 鳥大院持続性社会, ² 京大院農, ³ 鳥大院連農, ⁴ 鳥大農) |
| 15:45 | C217 | イネにおけるテルペノイド型ファイトアレキシン、オリザレキシン A の蓄積に関する種内変異
○假谷佳祐 ¹ , 村田晃一 ² , 宇部直樹 ³ , 上野琴巳 ¹ , 寺石政義 ⁴ , 奥本裕 ⁴ , 森直樹 ⁴ , 石原亨 ¹
(¹ 鳥取大農, ² 鳥大院持続性社会, ³ 鳥大院連農, ⁴ 京大院農) |
| 16:00 | C218 | マメ科植物種子発芽における種皮、子葉、幼芽、胚軸、幼根のアブシジン酸の定量
○竹原千恵 ¹ , 岡本昌憲 ^{1,2} , 米山弘一 ^{1,2} , 謝肖男 ^{1,2} (¹ 宇都宮大院・農, ² 宇都宮大・バイオ) |
| 16:15 | C219 | ストリゴラクトン共有結合型受容体阻害剤の創製と作用機構
○中村英光, 新山瑠璃, 大沼彩香, 平林佳, 喜久里貢, 胡文情, 宮川拓也, 徐玉群, 田之倉優, 浅見忠男(東大院・農生科) |
| 16:30 | C220 | ツルムラサキ葉より放出される揮発成分の解析
○網干貴子, 戸田綾香, 芦谷竜矢, 村山哲也(山形大学・農学部) |

第2日 3月12日(火) 午後の部 D会場(共通講義棟南 S302 講義室)

- | | | |
|-------|------|---|
| 13:15 | D210 | <p>土壌の比重分画法を用いた農薬の黒ボク土に対する吸着特性の解析</p> <p>○元木裕¹, 和穎朗太², 清家伸康² (¹独立行政法人農林水産消費安全技術センター, ²国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター)</p> |
| 13:30 | D211 | <p>黒ボク土露地畑におけるガスバリア性フィルム被覆による大気中メチルイソチオシアネート(MITC)濃度の低減効果</p> <p>○山本幸洋¹, 國友映理子¹, 鐘ヶ江良彦¹, 横山とも子¹, 小原裕三² (¹千葉農林総研・²農研機構 農業環境変動研究センター)</p> |
| 13:45 | D212 | <p>低濃度エタノールによる土壌還元消毒法の異なる土壌での特性評価について</p> <p>○小原裕三¹, 門馬法明² (¹農研機構 農業環境変動研究センター, ²(公財)園芸植物育種研究所)</p> |
| 14:00 | D213 | <p>山形県の露地メロントネル栽培における薬剤散布時の展着剤加用効果</p> <p>○本間隆¹, 小川一輝², 藤島弘行¹, 後藤新一³, 佐藤武義¹ (¹山形県庄内産地研究室, ²日本化薬株式会社, ³山形県農林水産部)</p> |
| 14:15 | D214 | <p>7種のネオニコチノイド系農薬一斉分析時の補正に適した安定同位体標識化合物の探索</p> <p>○伴野有彩, 矢吹芳教(大阪府環農水研)</p> |
| 14:30 | D215 | <p>常温煙霧によるナスおよびキュウリへの農薬残留と病害防除効果</p> <p>○島本文子, 下元祥史(高知県農技セ)</p> |
| 14:45 | D216 | <p>Degradation stopped residue analysis by CCSLC</p> <p>○Torsten Spitzer(EIFA)</p> |
| 15:30 | D217 | <p>施設キュウリ栽培における作業員暴露の実態調査</p> <p>○成田伊都美¹, 中畝誠¹, 日野千夏² (¹埼玉県農業技セ, ²加須農林振興セ)</p> |
| 15:45 | D218 | <p>松くい虫防除で散布されたフェニトロチオンの作業員暴露と尿中バイオマーカーの関係</p> <p>○阿部智早絵¹, 丸論¹, 上山純², 斎藤勲³, 本山直樹⁴ (¹(株)化学分析コンサルタント, ²名大院・医, ³東海 COOP, ⁴東農大・総研)</p> |
| 16:00 | D219 | <p>松くい虫防除における予防散布のリスクとベネフィット</p> <p>ー過去15年間の現地調査結果から</p> <p>○本山直樹</p> |
| 16:15 | D220 | <p>消費者のGAPに対する意識及びGAP認証の普及における課題</p> <p>○近藤健, 田邊範子, 橋本良子(公益財団法人東京都農林水産振興財団)</p> |
| 16:30 | D221 | <p>農薬に関する教育およびリスクコミュニケーションの技法の開発(第1報)</p> <p>ーICTを活用する『農薬占い(?)』ー</p> <p>○巢山弘介(島根大学 学術研究院 環境システム科学系, 担当:生物資源科学部)</p> |
| 16:45 | D222 | <p>農薬に関する教育およびリスクコミュニケーションの技法の開発(第2報)</p> <p>ーARSを活用するケースメソッドー</p> <p>○巢山弘介(島根大学 学術研究院 環境システム科学系, 担当:生物資源科学部)</p> |

会場案内

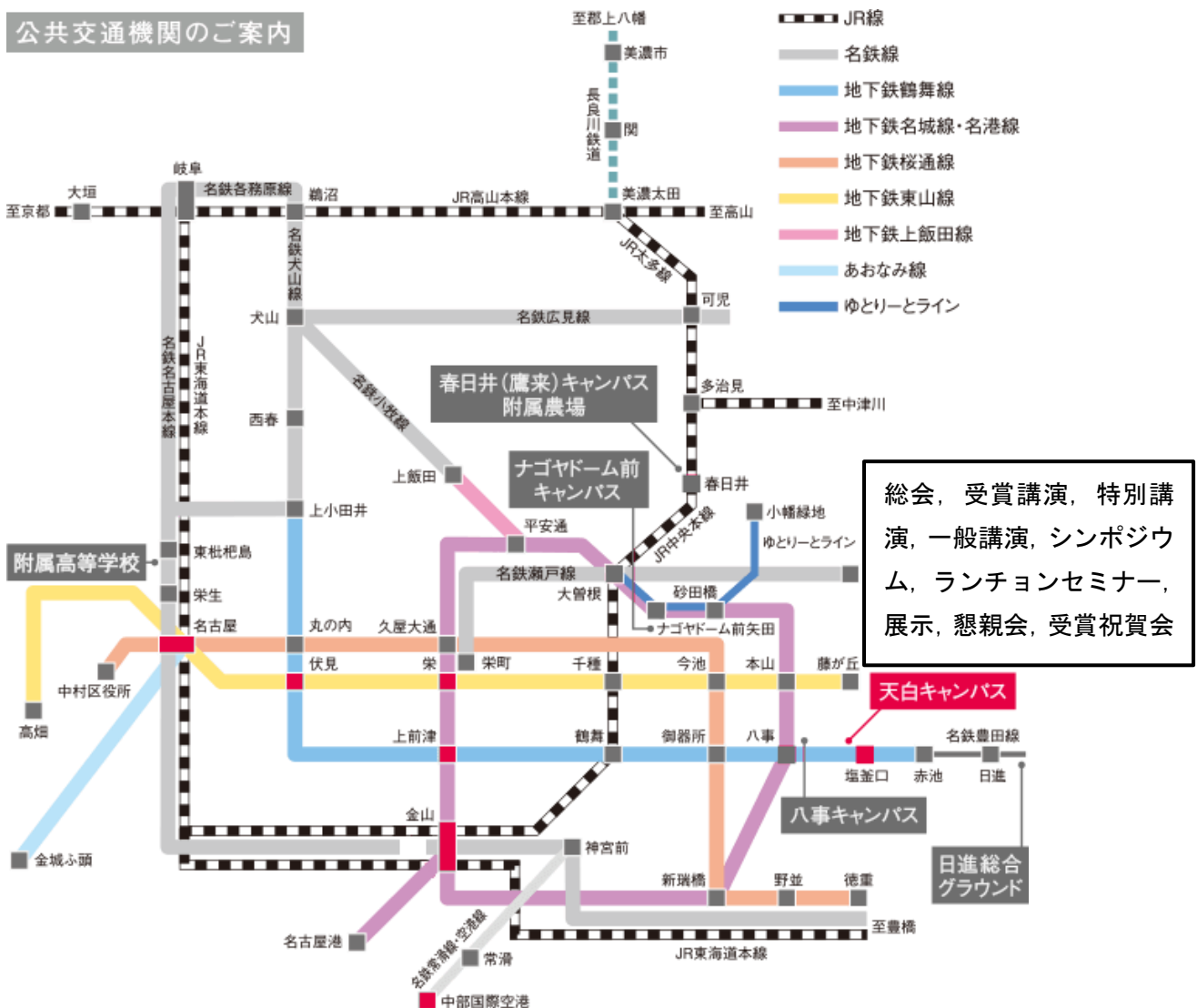
名城大学（天白キャンパス） (<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/>)

(総会，学会賞授賞式，受賞講演，特別講演，一般講演，シンポジウム，ランチョンセミナー，展示，懇親会，受賞祝賀会)

- ・新幹線ご利用の場合は、JR・地下鉄「名古屋駅」から地下鉄東山線で「伏見駅」乗り換え、地下鉄鶴舞線で「塩釜口駅」下車（所要時間約 30 分）。塩釜口駅から大学まで徒歩約 15 分。
- ・中部国際空港をご利用の場合は、名鉄「中部国際空港駅」から名鉄常滑線・空港線で「金山駅」乗り換え、地下鉄名城線で「上前津」乗り換え、地下鉄鶴舞線で「塩釜口」下車（所要時間約 1 時間 20 分）。塩釜口駅から大学まで徒歩約 15 分。
- ・小牧空港をご利用の場合は、「小牧空港」から空港バスで「名古屋」下車、地下鉄「名古屋駅」から地下鉄東山線で「伏見駅」乗り換え、地下鉄鶴舞線で「塩釜口駅」下車（所要時間約 1 時間 10 分）。塩釜口駅から大学まで徒歩約 15 分。

名城大学天白キャンパス 案内図

公共交通機関のご案内



名城大学天白キャンパス構内 案内図



※託児室の場所は、ご利用の方にご案内いたします。

名城大学天白キャンパスおよび周辺の食堂

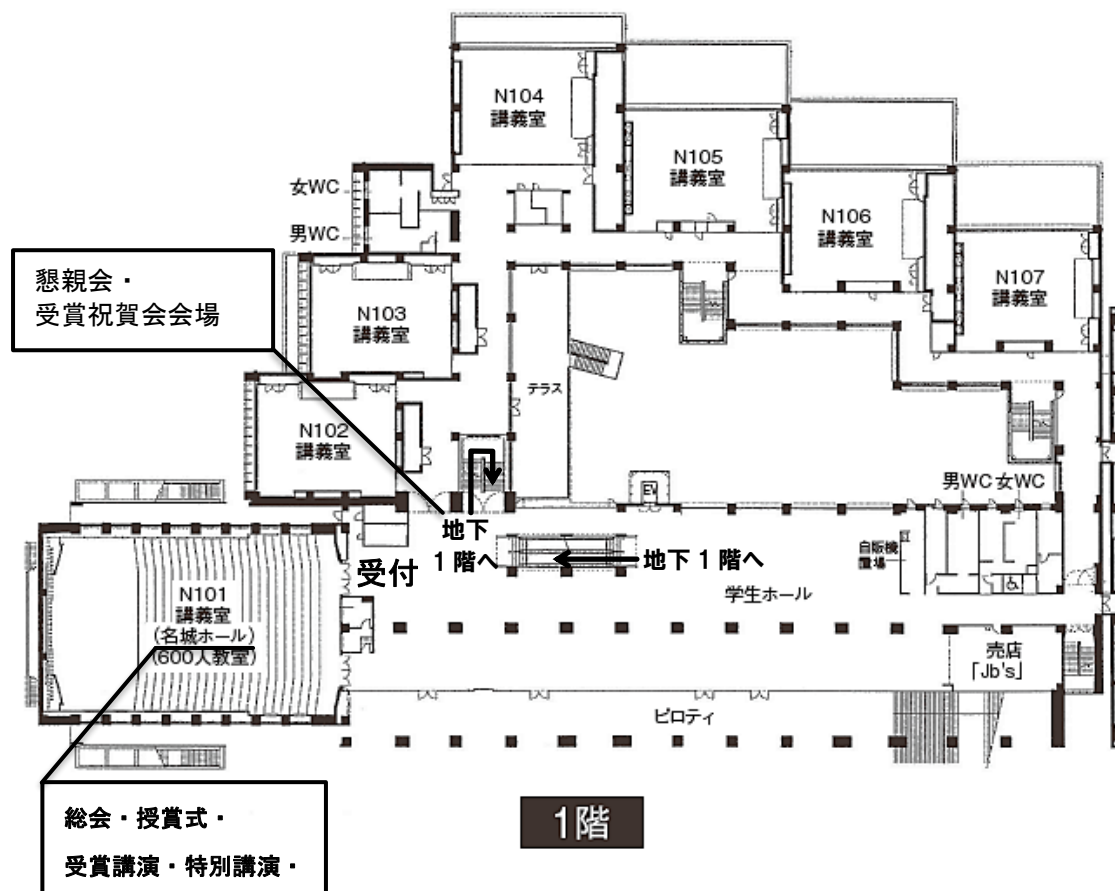


- 学内
 - ①共通講義棟北
B1階 名城食堂 9～14時
 - ②タワー75
B1階 カーサ 11～14時
売店「スクエア」 10～17時
15階 そらいろラウンジ 11～15時
 - ③校友会館
喫茶室「シャトー」 9～15時半
GREEN BAKERY Book Cafe 8～16時

- 学外
 - ④ローソン
 - ⑤東京油そば
 - ⑥うるぎ (うどん・そば)
 - ⑦金鯨 (定食)
 - ⑧英吉家 (ラーメン)
 - ⑨ファミリーマート

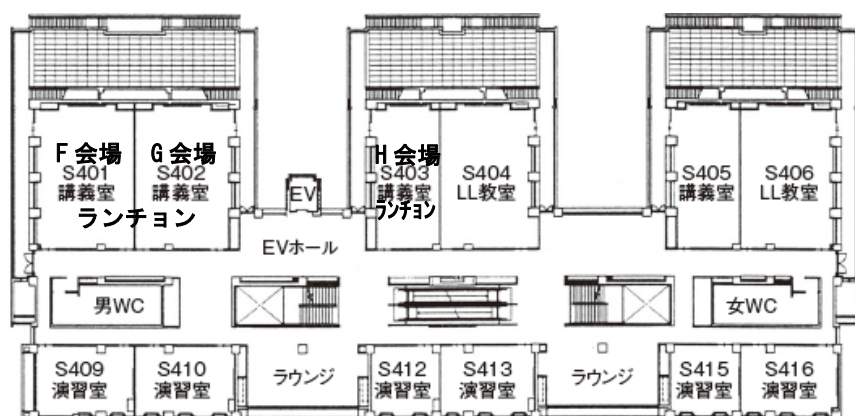
大学周辺にはその他いくつか飲食店などがございます。

会場の案内図
共通講義棟北

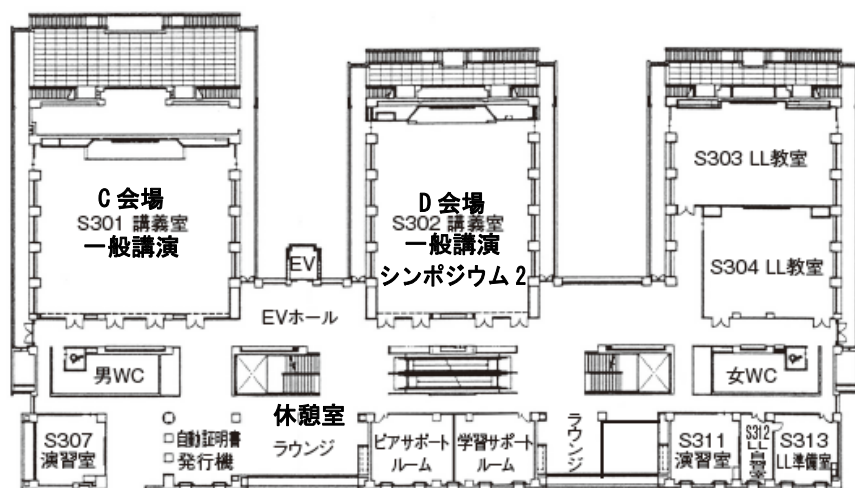


※懇親会・受賞祝賀会会場の名城食堂は共通講義棟北地下1階です。

共通講義棟南



4階



3階



2階